文化庁

令和５年度伝統文化親子教室・
令和４年度第二次補正予算事業
子供たちの伝統文化の体験です

明日につなぐ“千葉県「羽衣伝説」と
日本伝統文化「能楽」の学び”

チーバくん

千葉県誕生150周年
記念祝賀

◆千葉県立文化会館舞台芸術企画募集採択作品◆

羽衣

はごろも

県庁前 羽衣公園
「羽衣の松」

令和５年 6月15日（木） 千葉県民の日

青葉の森公園芸術文化ホール 開演：13：00（開場 12：20）

入場料：有料指定席 300 席（¥3,000）
無料自由席 585 名（親子席・車椅子席８席含む）

千葉県誕生150周年 記念祝賀

チーバくん

◆千葉県立文化会館舞台芸術企画募集採択作品◆

番組

解説――葛西聖司

仕舞「高砂」――鵜澤　光

「東北」クセ――大松洋一

「岩船」――清水義也

狂言「末廣かり」――髙澤祐介

能「羽衣」――松木千俊

里神楽「天之鵲橋（あめのかささぎばし）」――白石信人

薩摩琵琶「羽衣」――古澤史水

日本舞踊「羽衣」――西川瑞扇

十七時　終演予定

⚠ 今後の社会情勢を鑑み、中止や内容変更、入場制限等を行う場合がございます。予めご了承ください。

県庁前 羽衣公園「羽衣の松」

むかし、千葉の亥鼻城下に、千葉の蓮の花の咲きほこるころには、多くの見物人でにぎわっていた。いつのころからか静まりかえった夜半になると、ここに天女が舞いおり、かたわらの松の枝に羽衣を掛け、蓮の花の美しさに見入っていたという。この天女のうわさは、時の城主平常将の知るところとなり、常将は、美しい天女をぜひ自分の妻にしたいと思い、家来に松に掛けられている羽衣を隠すように命じた。羽衣を失った天女は天に帰ることができず、常将の妻となり、やがてりっぱな男の子を生んだという。このはなしは、京の天皇のお耳にも達し、天皇の命により参内した常将がそれまでの事情をありのままに申し上げたところ、天皇は深く感銘され、「これは前代未聞のことであるので、其方の地を千葉の蓮の花にあやかってこれから千葉と名乗れ」と仰せられた。常将はこの時から千葉氏を称したという。（「妙見実録千葉記」等の記載による）この羽衣公園は、このような伝説を秘め、県民の憩いの場として親しまれてきた。伝説中の池田の池は、この付近にあったといわれ、天女が羽衣を掛けたという松は、この後、長い間、濃いみどりを失わず、人々は千葉八景の一つとして大切に愛護して来た。このたび、千葉県の人口五〇〇万人突破の、記念事業の一環としてここに羽衣の松を復元し、末永く後世に伝えることにした。

昭和六十年三月　千葉県

（現地案内板より）

●チケット発売●　4/1 より下記販売窓口にてご購入ください

（電話予約及びインターネットからの購入は、4/2　9：00 から販売）

青葉の森公園芸術文化ホール　TEL：043-266-3511

千葉県東総文化会館　TEL：0479-64-2001

千葉県南総文化ホール　TEL：0470-22-1811

千葉県文化振興財団ホームページ　https://www.cbs.or.jp/

●お問い合わせ●一般社団法人松の会 事務局 佐藤 08025550626・千葉県支部 鈴木 09097327791

●交通のご案内●

◆ＪＲ千葉駅中央改札（東口）より

２番のりば　星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車　徒歩約８分

７番のりば　「中央博物館」下車　徒歩約 10 分

◆ＪＲ蘇我駅東口より

２番のりば　大学病院行き「芸術文化ホール」下車　徒歩約５分

◆京成千原線 千葉寺駅より　徒歩約 15 分

◆京葉道路 松ケ丘インターより　約 10 分

◆千葉東金有料道路 千葉東インターより　約 10 分

●主催●　一般社団法人松の会　公益財団法人千葉県文化振興財団

●共催●　千葉県議会芸術文化振興議員連盟

●後援●　千葉県　千葉県教育委員会　千葉市教育委員会　千葉県芸術文化団体協議会　千葉商工会議所　株式会社 千葉日報社